# 答え 1月2日 今日は何の日クイズ




赤い字が答えです

## 書き初めにちなんで「書き初め・書道クイズ」

**【第1問】書道で使う「文房四宝（ぶんぼうしほう）」。筆・墨・紙と、あと1つは？**

① 文鎮　② 下じき　**③ すずり**

文房四宝は、昔の中国で書斎（文房）の4つの宝とされた、筆・墨・紙・すずりのことです。すずりは、墨をすって墨汁を作るための石の道具です。

**【第2問】書道の墨は、おもに何を固めて作られているでしょう？**

① 土　**② すす**　③ 木の皮

墨は、油や松を燃やしたときに出る「すす」を、にかわ（動物の皮や骨から作るのり）でねり固めて作ります。奈良県は昔から墨づくりで知られています。

**【第3問】書き初めの墨は、昔は何の水ですったといわれるでしょう？**

**① 元日の朝にくむ「若水」**　② 雨の水　③ 海の水

元日の朝、その年はじめてくむ水を「若水（わかみず）」といいます。書き初めでは、この若水で墨をするのが習わしでした。若水は、お雑煮やお茶にも使われたそうです。

**【第4問】ふだんの習字で使う、うすい紙を何というでしょう？**

① 色紙　**② 半紙**　③ 画用紙

半紙は、たて約24センチ・横約33センチほどの和紙です。大きな紙を半分に切って使ったことから「半紙」と呼ばれるようになったといわれます。書き初めには、もっと細長い紙を使います。

**【第5問】「弘法にも筆の誤り」。この弘法大師とは、だれのことでしょう？**

① 最澄　② 一休　**③ 空海**

弘法大師は、真言宗を開いたお坊さん・空海のことです。書の名人で「三筆（さんぴつ）」のひとりに数えられます。そんな名人でも書きまちがえることがある、という意味のことわざです。

**【第6問】書き初めをどんど焼きで燃やし、炎が高く上がるとどうなるといわれるでしょう？**

**① 字が上手になる**　② お金持ちになる　③ 背がのびる

書き初めは、小正月のどんど焼き（左義長）で燃やします。燃えた紙が高く舞い上がるほど、字が上手になるといわれてきました。その火で焼いたおもちを食べる地域もあります。

**ねらい：** 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
**声かけ：** 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
**メモ：** 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生
© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます